

05 食道癌

※ レジメン名称を [クリック](#) または [Ctrl](#) + [クリック](#) してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“[現在のページを印刷する](#)”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
1	共通	05001-2A	(標準)FP+Radiation 療法(アロキシ)	
2	共通	05002-2A	FP 補助療法(手術前後・CRT 後)(アロキシ)	
3	共通	05004-1A	Docetaxel 療法(食道)	
4	科別(外科)	05005-1B	Low dose FP 療法	
5	科別(外科)	05006-1B	Low dose FP+Radiation 療法	
6	共通	05009-1A	Paclitaxel 療法(入院用)	
7	共通	05009-2A	Paclitaxel 療法(外来用)	
8	共通	05010-1A	ニボルマブ療法(食道)	
9	共通	05011-1A	FOLFOX 療法(食道)(アロキシ)	

05001

食道癌

(標準)FP +Radiation 療法

申請科

内科

H27.7 改訂、H28.6 改訂 H30.1 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルオロウラシル (5-FU)	400mg/m ² /Day	div.(24h 持続)	day1~5、8~12
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	40mg/m ² /Day	div(2h)	day1、8
Radiation	2Gy/Day (30Gy/15Fr/3W)		Day1~5、8~12、 15~19
Radiation併用し5週1クールで2クール施行。RT(30Gy/15Fr/3W)×2；計60Gy			
Regimen			
day1、8		day2、9	
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B
24時間	側①(メイン①終了後) 生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ()mg	24時間	メイン②生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ()mg
2時間	メイン②ソルデム3A 500mL 1B フルオロウラシル投与開始後、並行して開始	24時間	day3~4、10~11 メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ()mg
30分	メイン③生理食塩液100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V アロキシ注0.75mg 1V	24時間	day5、12 メイン①生理食塩液 1L 1B フルオロウラシル注 ()mg
30分	メイン④マンニトール S 300mL 1B フルオロウラシルを止めて投与	全開 (5分)	メイン②生理食塩液 50mL 1B Radiation Day1~5、8~12、15~19 30Gy/3weeks 2週休み
5分	側②(メイン④終了後、側①と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B	備 考	
2時間	側③(側②と同ルートから) 生理食塩液 500mL 1B シスプラチン ()mg フルオロウラシルと同時に投与	・day2、9の点滴開始前にルートを交換	
5分	側④(側③シスプラチン終了後、同ルートから) 生理食塩液 50mL 1B	【レジメンシステム登録】	
2時間	メイン⑤ソルデム3A 500mL 1B	05001-1A (標準)FP+Radiation 療法	
6時間	メイン⑥ソルデム3A 500mL 1B	05001-2A (標準)FP+Radiation 療法(アロキシ)	
5分	側⑤(側①フルオロウラシル終了後、同ルートから) 生理食塩液 50mL 1B		

05002	食道癌	FP 補助療法(手術前後・CRT 後)	申請科
			外科

H27.7 改訂、H28.6 改訂、H30.1 改訂 R3.6 改訂 R3.12 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルオロウラシル (5-FU)	800 mg/m ² /day	div.(24h 持続)	Day1~5
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	80 mg/m ² /day	i. v. (側管) 又はdiv.(2h)	Day1

3~4週毎(術前は3週毎・2クールで終了)

Regimen

内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。		5分 24時間	day2		1B 1B
	day1	アプレピタントカプセル125mg		メイン①生理食塩液 50mL		
内服	化学療法前 1回 day2, 3 80mg分1 朝食後		24時間	day3~4		1B 1B
	day2~4	デカドロン錠8mg分1~2 食後		メイン①生理食塩液 1L		
5分 24時間	day1		24時間	day5		1B 1B
	メイン①生理食塩液 50mL	1B		メイン①生理食塩液 1L		
24時間	側①(メイン①終了後) 生理食塩液 1L 1B		全開 (5分)	フルオロウラシル注 ()mg		1B
	フルオロウラシル注 ()mg			メイン②生理食塩液 50mL		
2時間	メイン②ソルデム3A 500mL 1B		備考			
・day2の点滴開始前にルートを交換						
30分	メイン③生理食塩液100mL 1B		【レジメンシステム登録】			
デキサート注 6.6mg 1V		05002-1A FP 補助療法(手術前後・CRT 後)				
アロキシ注0.75mg 1V		05002-2A FP 補助療法(手術前後・CRT 後)(アロキシ)				
30分	メイン④マンニトール S 300mL 1B		インターバル3週で登録			
フルオロウラシルを止めて投与						
5分	側②(メイン④終了後、側①と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B		・アプレピタントはレジメン内の処方に登録			
・デカドロン錠は適宜処方内服オーダ						
2時間	側③(側②と同一ルートから) 生理食塩液 500mL 1B					
シスプラチン ()mg						
フルオロウラシルと同時に投与						
5分	側④(側③シスプラチン終了後、同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B					
2時間	メイン⑤ソルデム3A 500mL 1B					
6時間	メイン⑥ソルデム3A 500mL 1B					
5分	側⑤(側①フルオロウラシル終了後、同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B					

05004	食道癌	Docetaxel 療法(食道)	申請科
			外科

H21.2 承認 H.27.7 改訂 H31.1 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ドセタキセル (docetaxel)	60mg~70mg/m ²	i. v. (1h以上)	day1

3週毎
耐性になるまで 化療ベット予約：2時間で登録

Regimen

30分 60分 全開 (5分)	day1 メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ()mg 側②生理食塩液 50mL 1B	備考 【レジメンシステム登録】 05004-1A Docetaxel 療法(食道) ・70mg/m ² で登録
--------------------------	---	---

05005	食道癌	Low dose FP 療法	申請科
			外科

H27.7 改訂、H28.6 改訂 H30.10 改訂 H31.3 改訂 科別(外科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルオロウラシル (5-Fu)	500~750mg/body/day	div.(24h 持続)	5day/w × 4week
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	5~10mg/body/day	i. v. (側管)	5day/w × 4week
6週間毎			
Regimen			
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B		
24時間	メイン②生理食塩液 1L 1B		
緩徐に	フルオロウラシル注 ()mg 側①シスプラチン注 ()mg (緩徐に iv. または 生理食塩液 100mL で60分 div.)		
5分	側②生理食塩液 50mL 1B		
day2~4			
24時間	メイン①生理食塩液 1L 1B		
緩徐に	フルオロウラシル注 ()mg 側①シスプラチン注 ()mg (緩徐に iv. または 生理食塩液 100mL で60分 div.)		
5分	側②生理食塩液 50mL 1B		
day5			
24時間	メイン①生理食塩液 1L 1B		
緩徐に	フルオロウラシル注 ()mg 側①シスプラチン注 ()mg (緩徐に iv. または 生理食塩液 100mL で60分 div.)		
5分	側②生理食塩液 50mL 1B		
全開 (5分)	メイン②生理食塩液 50mL 1B		
(4週繰り返し、2週休薬)			
備 考			
【レジメンシステム登録】 05005-1B Low dose FP 療法 ・5-FU 750mg/body で登録 ・CDDP 10mg/body、生食 100mL で希釈、 60分点滴静注で登録			

05006	食道癌	Low dose FP+Radiation 療法	申請科
			外科

H27.7 改訂、H28.6 改訂 H30. 改訂 科別(外科)※消化器内科から外科へ H24.3

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルオロウラシル (5-Fu)	200mg/m ² /day	div.(24h 持続)	5day/week × 6weeks
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	4mg/m ² /day	i. v. (側管) 又はdiv.(60分)	5day/week × 6weeks
Radiation	2Gy/Day (60Gy/30Fr/6w)		5day/week × 6weeks

6週1クールで終了

Regimen

day1		day5	
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	24時間	メイン①生理食塩液 1L 1B
24時間	メイン②生理食塩液 1L 1B		フルオロウラシル注 ()mg
緩徐に	フルオロウラシル注 ()mg	緩徐に	側①シスプラチン注 ()mg
	側①シスプラチン注 ()mg		(緩徐に iv. または
	(緩徐に iv. または		生理食塩液 100mL で60分 div.)
5分	側②生理食塩液 50mL 1B	5分	側②生理食塩液 50mL 1B
		全開	メイン②生理食塩液 50mL 1B
		(5分)	
			(6週繰り返す)
day2~4			
24時間	メイン①生理食塩液 1L 1B		
緩徐に	フルオロウラシル注 ()mg		
	側①シスプラチン注 ()mg		
	(緩徐に iv. または		
	生理食塩液 100mL で60分 div.)		
5分	側②生理食塩液 50mL 1B		
備 考			
【レジメンシステム登録】			
05006-1B Low dose FP+Radiation 療法			
・1クール6週間			
(day1~5・8~12・15~19・22~26・29~33			
・36~40投与)で入力			
・CDDP:生食 100mL で希釈、60分点滴静注で登録			

05009	食道癌	Paclitaxel 療法	申請科
			内科

H30.3 改訂 R3.9 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	100mg/m ²	div. (1h).	day1、8、15、 22、29、36

6投1休(7週間毎)

耐性になるまで

(外来) 化療ベット予約 : 2 時間で登録

Regimen

内服	パクリタキセル投与 30 分前に レスタミン錠(10) 5錠 内服		
	day1、8、15、22、29、36		
10分	メイン①生理食塩液 100mL	1B	
	デキサート注 6.6mg	1V	
	ファモチジン注 20mg	1V	
30分	側①生理食塩液 50mL	1B	
1時間	側②5%ブドウ糖液 250mL	1B	
	パクリタキセル点滴静注液()mg		
5分	側③生理食塩液 50mL	1B	
備 考			
【レジメンシステム登録】			
05009-1A Paclitaxel 療法(入院用)			
・(入院)レスタミンはレジメン内の処方に登録			
05009-2A Paclitaxel 療法(外来用)			
・(外来)レスタミンは済み処方にて投与			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05010	共通	食道癌	<u>ニボルマブ療法(食道)</u>	外科・消化器外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV				<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行
PS; 0 ~ 1 (まで)				<input type="checkbox"/> その他()
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間		投与方法(1クール)
オプジーボ (Nivolumab)	240mg/body	div.(30分)		Day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎 可能な限り継続		化療ベット予約:	1時間で登録
Radiation 併用 無		1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL	1B		備考 ・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。 ・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。 なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・30分以上かけて点滴静注すること。 ・オプジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 【レジメンシステム登録】 05010-1A ニボルマブ療法(食道) R2.12 バイタルサインのモニターをオプジーボとして初回投与時のみに変更
30分	側①生理食塩液 100mL オプジーボ 240mg	1B		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL	1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
05011	共通	食道癌	FOLFOX 療法(食道)(アロキシ)	外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb ④			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
PS; ~ (まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オキサリプラチン 5-FU	85mg/m ² /day 400mg/m ² /Day 2400mg/m ² /46h	Div(120min) Div(15min) Div(46h)	Day1 Day1 Day1~3	
レボホリナート	200mg/m ² /Day	Div(2h)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎 可能な限り継続	化療ベット予約: 3時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート		46時間	Day 1~3
30分	Day1 ポート①生理食塩液 20mL フラッシュ1本 メイン①生理食塩液 100mL 1B アロキシ注 0.75mg 1A デキサート注 6.6mg 1V		静脈ポート (シュアーフューザーA SFS-1036HRP) ポート②フルオロウラシル () mg 生理食塩液 100mL ※全量100mLに調製する。 (ポート=2400mg/m ²) ポート③ヘパリンNa ロック用 (100単位/mL) 10mL 1本	
2時間	メイン②5%ブドウ糖液 250mL 1B レボホリナート()mg			
2時間	側①(メイン②と同時に) 5%ブドウ糖 250mL 1B オキサリプラチン()mg			
15分	側②(メイン②終了後) 5%ブドウ糖 100mL 1B フルオロウラシル()mg (側②400mg/m ²)			
5分	側③生理食塩液 50mL 1B		備考	
			【レジメンシステム登録】 05011-1A FOLFOX 療法(食道)(アロキシ)	

